

平成 26 (2014) 年 10 月 18 日定例理事会議事録(案)

庶務主査担当理事 佐藤 (和)

日 時： 平成 26 (2014) 年 10 月 18 日(土) 12:30~13:50

場 所： 北九州国際会議場 11 会議室

出席者 (敬称略)

理 事：木口会長，鳥越副会長，神戸副会長，佐藤常務理事，麻生，井田，今西，入澤，内田，恵良，岡田，岡根，兼重，菅野，佐藤 (和)，柴田，清水，高田，辻川，寺嶋，橋本，旗手，平塚，松崎，矢島， (出席数/理事総数 25/29)

委員長： 矢野

監 事： 西

事務局： 細田，野口

【議長】 木口会長

はじめに事務局から，今回の理事会出席理事は 25 名 (理事 29 名中) であり，定款第 30 条第 1 項に基づき成立していること，定款 31 条第 2 項により議事録署名人を会長，監事とすることを宣言した。

【定例議題】

1. 前回議事録 (平成 26 (2014) 年 7 月 4 日定例理事会) が異議なく承認された。
2. 財務及び会員に関する事項
 - 2.1 2014 (平成 26) 年 6 月，7 月，8 月， 月次収支報告
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
 - 2.2 2014 (平成 26) 年度累計 (4 月~8 月) 収支報告
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
 - 2.3 2014 (平成 26) 年 6 月~8 月の会員異動
佐藤常務理事より報告があり，了承された。
2014 年 3 月末と比較して，8 月末時点で正会員 93 名，維持会員 9 件増加したと報告された。また，減少分として学生会員 17 名，外国会員 9 名と報告された。6 月に正会員 26 名の退会がありこの対策が必要である旨の提案があった。
 - 2.4 2014 (平成 26) 年 6 月~8 月 入会会員の承認
佐藤常務理事より説明があり，審議の結果，異議なく承認された。
 - 2.5 2015 (平成 27) 年度永年会員有資格者の件
2015 (平成 27) 年度の永年会員有資格者 25 名について，佐藤常務理事より説明があり，審議の結果，異議なく承認された。
木口会長より，永年会員資格の年齢は，規程上「65 歳以上であること」となっているが，65 歳でよいのかどうか。検討するよう企画委員長に指示が出された。
3. 各種委員会に関する事項
 - 3.1 国際関係委員会報告
 - 1) 中国鑄造学会・韓国鑄造学会 参加者の件
寺島理事 (代 熊井国際関係委員長) より，中国鑄造学会 (2014 年 10 月 25 日~28 日) へ中江氏，岡田 (民) 氏の正副 2 名，韓国鑄造学会 (2014 年 11 月 6 日~7 日) へ鳥越副会長，熊井国際関係委員長の正副 2 名を代表者として参加して頂き，旅費は学会で負担する旨の説明があり，異議なく承認された。
 - 2) WFC2016 募金委員会報告
2014 年 10 月 8 日現在の募金確定額について佐藤事務局長より報告された。目標 60,000 千円に対し 40,810 千円 (内訳は，企業 51 社，個人 3 名，本部扱い 34,930 千円，支部扱い 5,880 千円，寄附金 38,110 千円，協賛広告掲載 2,700 千円) となっている。

3) WFC2016 組織委員会報告 (WFC2016 の計画概要)

寺島副委員長より WFC2016 年第 72 回世界鑄造会議の日程と概要について報告があった。開催日程は 2016 年 5 月 21 日 (土) ~25 日 (水)、場所はポートメッセなごや (名古屋国際展示場)。2015 年 1 月 ~5 月に講演の募集、参加登録は 2015 年 8 月からスタートする。参加料は (一般) 6 万円、(学生) 2 万円で寄付企業および発表者は減額する。工場見学は 9 班を予定、参加者数は 800 名 (海外 300 名を含む) を予定。

3.2 財務委員会報告

1) 各支部宛「賀詞挨拶広告」勧誘の件

佐藤常務理事 (代 内田財務委員長) より、2015 年 (平成 27) 1 月号に社名広告として掲載する「賀詞挨拶広告」の勧誘をお願いする旨、説明し承認された。

2) 2015 (平成 27) 年度 会誌広告掲載依頼の件

佐藤常務理事 (代 内田財務委員長) より、広告掲載会社さんの事業及び製品のイメージアップと PR 活動の一助となることを期待し、昨年来、カラー料金を大幅に安く設定した広告料金表と申込書を添付し各社様に発信することが提案され承認された。

3.3 編集委員会報告

1) 全国講演大会学生優秀講演賞副賞贈呈の件と規程改訂報告

前回理事会で木口会長より、賞牌に加えて、副賞を検討するよう指示がなされ、編集委員会で検討した結果、副賞として 5,000 円の図書券を贈ることとした旨、平塚委員長より報告された。

2) 「網谷賞」副賞贈呈に伴う規程改訂の件

網谷賞で受賞サークルに賞牌を授与しているが、活動の活性化、投稿促進を狙いとして副賞を授与したい。副賞として 30,000 円を授与することと、これに伴い、規程 5-9「網谷賞内規」第 5 項を改定する旨、平塚委員長より提案があり承認された。

3.4 行事企画委員会報告

1) 「学生鑄物コンテスト」プレ開催報告

2014 年 9 月 8 日に(株)コイワイにおいてプレ大会の鑄造を実施した。各チームの課題作品を展示コーナーに展示している。プレ大会の結果は全チームに優秀賞を、さらに品質賞 (室蘭工大)、ユニーク賞 (近畿大)、プレゼン賞を贈呈したことを清水企画委員長 (代 山浦行事企画委員長) より報告された。

2) 講習会「鑄物に活用される分析・評価技術の基礎」開催報告・収支報告の件

関西支部との共催で「鑄物に活用される分析・評価技術の基礎」の講習会を開催し、79 名の参加があった。参加者のアンケート集計結果から、講習会内容は良好で難易度も適正だったと考える。参加費を抑えたことから、運営上は赤字となったが、各支部での講演会の再演の検討について、佐藤常務理事 (代 山浦行事企画委員長) より、説明され承認された。

3.5 企画委員会報告

1) 特定費用準備資金「特別若手研究奨励金規程」の件

清水企画委員長より、「公 3」の特定費用準備資金として内閣府へ登録した「鑄造工学会奨学積立金」の内規 (規程番号 8-7「日本鑄造工学会 特別若手研究奨励金規程」) を制定し運用する旨、提案があり承認された。申請者は広く一般から公募し、毎年 1 件採用し奨励金は 100 万円とする。2014 年度から募集し 10 年間の期限付きで、1 度のみの受給とする。

2) その他の規程改訂の件

清水企画委員長より、規程番号 8-7 の新規制定に伴い、規程番号 5 の表彰に関する規程および 8 の研究奨励に関する規程について、公益総研の指導を頂いたので修正見直しを行う旨、提案があり承認された。①規程の一部に被表彰者、申請者、等に関し学会員以外のものを外した表現があり、公益法人の趣旨に反するため「原則として」という言葉を追記し見直し修正する。②「……助成金」という表現は好ましくないため「……奨励金」に変更する。また、奨励、支援金の審査委員に行事企画委員長を追加する。

3) 「2-2 企画委員会規程」改訂の件

清水企画委員長より、従来の「長期ビジョン小委員会」を発展的に「企画委員会」に変更したのに伴い、メンバー構成の充実を図るため、第3条（構成）「……企画及び財務担当理事並びに若干名の理事……」を「……企画及び財務委員長を含む10名程度の理事……」に修正する旨、提案があり承認された。

4) 理系応援プロジェクト開催報告の件

清水企画委員長より、室蘭工業大学と日本鑄造工学会共催の「理系学生応援プロジェクト」を9月13日（土）、14日（日）で開催、札幌新川高校と札幌平岸高校から15名の高校生が参加し好評を博した、と報告された。開催に要した費用526,824円は、特定費用準備資金「鑄造人材育成活動資金」から供する旨、提案があり承認された。

3.6 広報委員会報告

1) 研究論文以外の記事をJ-STAGEに掲載の件

岡根広報委員長より、現在J-STAGEに掲載している研究論文、技術論文（各5年前まで）以外に、会員サービスのおよび非会員に対する学会の知名度向上等を目的として、技術報告、解説、レビュー、研究速報、研究部会報告を掲載したい旨、提案があり承認された。予算は長期ビジョン活動基金（1,500千円）を引き当て、2014年12月末までに完了する予定である。

2) 鑄造PRのためのDVD製作

岡根広報委員長より、「公3」の特定費用準備資金「鑄造人材育成活動資金」を活用し、日本鑄造協会監修のDVDや素形材センターのビデオなどを参考に、最新情報を取り入れた40分程度のDVDを製作したい旨、提案があり承認された。見積もりを新宿スタジオに依頼中で、詳細の計画は広報委員会メンバーで詰める。高校生や素人向けに、短いダイジェスト版が必要との意見があった。

4. 学会運営及び行事に関する事項

4.1 第165回全国講演大会参加申し込み状況報告

佐藤常務理事より、第165回全国講演大会参加申し込み状況について報告した。当日申し込み34名を含み大会登録者が592名であった。講演会618名、懇親会455名、工場見学88名、エスカーション12名、技術講習会は当日申し込みが6名、計129名と大変盛況である。

4.2 新規規程発行の件（10-16 顧問退職後の業務応援依頼）

木口会長より、2014年9月30日を以って退職された弊会事務局の野口顧問について、今後の学会運営において応援を依頼できるように新規に内規を制定したい旨、提案があり承認された。

4.3 第166回全国講演大会開催のお知らせ

神戸副会長兼支部長より、第166回全国講演大会の概要について説明があった。2015年5月22日～25日、早稲田大学西早稲田キャンパスにて開催する。工場見学は5班、エスカーション、YFE大会、こども鑄物教室、パネルディスカッションは「鑄物を愉しむ」をテーマとし午前中に「人材育成と教育」に主眼を置いたOSを企画、懇親会（リーガロイヤルホテル東京）、カタログ展示コーナー、技術講習会は「QCの基礎及び応用」を計画している。

5. 各種選考に関する事項

5.1 6賞推薦依頼の件

佐藤常務理事より、6賞（クボタ賞、飯高賞、功労賞、技術賞、豊田賞、日下賞）の推薦をお願いする旨、提案され承認された。推薦締切は10月31日（金）必着でお願いします。

6. その他の事項

6.1 支部長会議開催の件

佐藤常務理事より、第2回支部長会議開催の説明があり承認された。

【日時】2014（平成26）年11月28日（金）11:00～13:00（含む昼食）

12:00～13:00 に運営連絡会を予定しています。

【場所】鑄造工学会 事務局会議室

6.2 支部規程改訂の件（関西支部）

辻川支部長より、今回7件の改訂があるが「規程の改廃は、理事会承認を得た上で、本部理事会の議決

を経て行うものとする」との記載があるため、本理事会での変更、承認をお願いされ、承認された。

一方、定款「第10章 支部」第41条の5項に「第1項の支部の組織及び運営に関し必要な細則は、理事会において定める。」と記されており、公益総研確認の結果、本件は支部理事会で改廃可能とのことにつき、上記が記された支部規程を改訂するよう依頼した。

6.3 理事会資料の件

木口会長より、理事会資料は現在コピーを開催日2～3日前までに各位に届くよう郵送の手配をしているが、事務手続きの簡素化と配信時間の短縮など効率良い運用を狙いとして資料をPDF形式で電子メールでお送りしたい旨、説明があり承認された。

6.4 次回理事会開催日の件

佐藤常務理事より、次回理事会開催日の説明があり承認された。

【日時】2014（平成26）年11月28日（金）13:30～16:50

【場所】東京港区立 神明いきいきプラザ集会室B 港区浜松町1-6-7 03-3436-2500

【2015年度 理事会開催日】 2015年5月8日（金）に行います。

【補足】会長、監事1名が議事録署名人となる。

以上